

事例の区分

事業区分	建築物整備事業
配慮概要	環境共生型団地建替事業

事業の概要

事業名	大桑県営住宅建替事業
実施場所	金沢市大桑町地内
事業主体	石川県（担当課：建築住宅課）
実施期間	平成12年度～平成21年度（予定）
全体事業費	約5,500,000千円
事業規模等	鉄筋コンクリート造4階建て8棟 253戸、集会所1棟
事業概要	昭和46～47年度に建設された大桑県営住宅団地は、狭小化や設備の老朽化が進み、需要も高いことから、建替優先団地として位置づけ、事業を着手。整備には、バリアフリー化、景観形成、特に環境共生を配慮した団地として計画、事業を進めている。

環境配慮の内容

- ・ 雨水利用によるせせらぎ（池）...せせらぎの循環には、太陽光発電を利用
- ・ 透水性舗装による駐車場整備
- ・ 建設廃棄物の再資源化・適正処理
- ・ 再生砕石などの利用
- ・ 建設発生土の適正処理
- ・ 敷地および壁面緑化
- ・ 断熱材および複層ガラスの採用
- ・ 在来樹種による植栽
- ・ 健康被害をおこす物質（ホルムアルデヒド等）を使用している資材使用の回避

環境配慮の結果

- ・ 現在、整備中。
3.4.5.6号棟および集会所、池・せせらぎ等は整備済

今後の留意事項等

- ・ 植栽・太陽光発電等、環境共生団地としてのメンテナンスや設備維持を行う。

外部環境

- 緑の演出 → 壁面緑化・植栽
- 水の演出 → せせらぎ空間
- 太陽の演出 → 太陽光発電・屋外空間
- 良好な景観 → 瓦屋根・木造集会所
(まちなみの創出)
- その他 → 透水性舗装・再生砕石

環境共生の観点

- 太陽光の活用
- 雨水の活用
- 地域との融合
- リサイクル推進



せせらぎ空間



集会所